

三十一年を数えた平成の御代は、天皇陛下が皇位をお譲りになり、新たな世を迎えることとなりました。御譲位の翌日より、皇太子殿下が位をお継ぎになられます。

皇位継承に伴うさまざまな儀式や行事は、古くから「天津日嗣の高御座の業」と申しあげ、神話に語られる、天照大御神がお授けになつた「天壤無窮」「宝鏡奉齋」「齋庭の稻穂」の神勅と現世をつなぐものであり、皇室の久しい伝統、日本で最高の祭儀です。この度の御大礼も、この年の春から秋にかけて、厳かななかにも晴れやかに、たくさんの儀式と行事が執り行われる予定です。

## 皇室と

神宮は、皇室の御祖先神天照大御神をお祀り申しあげ、その伊勢の地への御鎮座は、第一代垂仁天皇の御代に遡ります。それより約二千年の永きにわたり、神勅にしたがつて途絶えることなく、伊勢では日々のお祭りによつて皇室の御安寧と日本の國の弥栄、五穀豊穣などをお祈り申しあげ、また、歴代天皇も、日々神宮への遙拝を欠かされることなくお続けあそばされてまいりました。

この度の御大礼に際しても、皇居から神宮へ、節目ごとに勅使を御差遣になり幣帛を奉られ、神宮でも大御饌を奉り折々にお祭りを執り行います。また、大嘗祭を終えられた後、天皇皇后両陛下には伊勢の大宮地へ御親謁あそばされる予定となっています。

## 御大礼

### 御大礼 祭儀と行事 日程

#### 平成 31年(2019)

3月12日 賢所に退位及びその期日奉告の儀、皇靈殿神殿に退位及びその期日奉告の儀  
神宮神武天皇山陵及び昭和天皇以前四代の天皇山陵に勅使発遣の儀

3月15日 神宮に奉幣の儀※  
神武天皇山陵及び昭和天皇以前四代の天皇山陵に奉幣の儀

3月26日 神武天皇山陵に親謁の儀

4月18日 神宮に親謁の儀※

4月下旬 昭和天皇山陵に親謁の儀

4月30日 退位礼当日賢所大前の儀、退位礼当日皇靈殿神殿に奉告の儀  
退位礼正殿の儀○

#### 令和元年

5月 1日 剣璽等承継の儀○  
即位後朝見の儀○  
賢所の儀(～3日)、皇靈殿神殿に奉告の儀

5月 8日 賢所に期日奉告の儀、皇靈殿神殿に期日奉告の儀  
神宮神武天皇山陵及び昭和天皇以前四代の天皇山陵に勅使発遣の儀

5月10日 神宮に奉幣の儀※  
神武天皇山陵及び昭和天皇以前四代の天皇山陵に奉幣の儀

5月13日 斎田点定の儀

別途決定 大嘗宮地鎮祭

秋 斎田拔穂前一日大祓

秋 斎田拔穂の儀(悠紀主基両地方新穀供納)

10月22日 即位礼当日賢所大前の儀、即位礼当日皇靈殿神殿に奉告の儀  
即位礼正殿の儀○ 祝賀御列の儀○  
饗宴の儀○(25日、29日、31日)  
即位礼当日祭※

10月23日 内閣総理大臣夫妻主催晩餐会

10月26日 一般参賀

11月 8日 神宮に勅使発遣の儀

11月12日 大嘗祭前二日御禊・大嘗祭前二日大祓

11月13日 大嘗祭前一日鎮魂の儀・大嘗祭前一日大嘗宮鎮祭

11月14日 大嘗祭当日神宮に奉幣の儀※

大嘗祭当日賢所大御饌供進の儀、大嘗祭当日皇靈殿神殿に奉告の儀

11月14・15日 大嘗宮の儀(14日悠紀殿供饌の儀・15日主基殿供饌の儀)

11月16日 大嘗祭後一日大嘗宮鎮祭

11月16日・18日 大饗の儀

11月下旬 即位礼及び大嘗祭後神宮に親謁の儀※

以降 即位礼及び大嘗祭後神武天皇山陵  
及び昭和天皇以前四代の天皇山陵に親謁の儀

茶会

即位礼及び大嘗祭後賢所に親謁の儀

即位礼及び大嘗祭後皇靈殿神殿に親謁の儀

即位礼及び大嘗祭後賢所御神樂の儀

大嘗祭後大嘗宮地鎮祭

◎は国事行為  
※は神宮で行われる儀式

## 御大礼と神宮



— 平成から令和へ —

じんぐうしちょう  
神宮司庁

〒516-0023 三重県伊勢市宇治館町1

電話 0596-24-1111(代) <http://www.isejingu.or.jp/>



# 御大礼の主な祭儀と行事

宮中三殿（賢所・皇靈殿・神殿）に御奉告の後、宮殿松の間に於いて、「退位礼正殿の儀」が行われます。

## 退位礼

4月 30日

「改元政令」の施行によって元号が改まる五月一日、皇位繼承の最初の儀式にあたる「劍璽等承継の儀」が宮殿松の間で行われ、皇位のみしるしとされる「三種の神器」のうち、剣と勾玉、天皇と日本國の印章を受け継れます。また、宮中三殿では皇位を繼承されたことを御奉告

## 皇位繼承

5月 1日

する儀式が行われます。続いて即位後初めて三權の長をはじめ国民の代表とお会いになる「即位後朝見の儀」が行われます。

## 期日奉告の儀

5月 8日

天皇陛下が自ら立纓御冠、黄櫨染御袍のお姿で、宮中三殿に即位礼・大嘗祭の期日を御奉告されます。つづいて、宮殿竹の間に於て、神宮初代神武天皇と昭和天皇以前四代天皇の山陵に勅使を発遣される「勅使發遣の儀」が行われます。古くは「由の奉幣」と呼ばれ、神宮でも5月10日に「期日奉告祭」が行われます。

## 即位礼

10月 22日

平安時代さながらの威厳に満ちた華々しい儀式です。その後、「祝賀御列の儀」（パレード）や「饗宴の儀」など、中庭には色とりどりの旗が立てられ、威儀の者などが立ち並ぶ、

## 大嘗祭

11月 14日・15日

全国を東西に分けて、悠紀田・主基田を定める「斎田点定の儀」や、その斎田より御料を収穫する「斎田拔穂の儀」、大宮処の安寧を祈る「大嘗宮地鎮祭」など数多くの祭儀を経て、このために建てられた大嘗宮の悠紀殿・主基殿に、天照大御神はじめ天神地祇をお招きし、天皇陛下御自らお祭りを行われる、一代一度、即位後初めての大嘗祭（毎秋、神前に新穀をお供えし、収穫を祝い感謝を捧げる祭）が大嘗祭です。斎田で収穫された米、粟や白酒・黒酒などの神饌を奉り、御自らも召し上がることで、神々は更に威力を増され、陛下もその威力をお受けになります。この後、「大饗の儀」として、古にいう「節会」が開かれます。

大嘗祭は約一三〇〇年前、第一回神宮式年遷宮と同じ頃にはじめられました。長い日本の歴史を通して行われてきた、至高至聖の「あえのこと」といわれます。

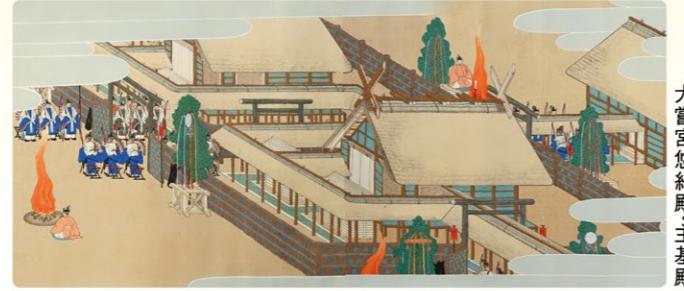
この祭儀でも、神宮に向けて「勅使發遣の儀」が行われ、神宮でも「大嘗祭当日祭」が行われ、大御饌供進や奉幣の儀が行われます。

## 御親謁

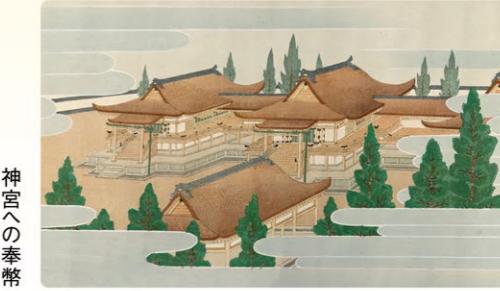
即位礼・大嘗祭を終えられた天皇皇后両陛下が、御代のはじめに剣璽を伴つて神宮を御親謁され、天照大御神に親しく御奉告をなさいます。天皇陛下は立纓御冠、黄櫨染御袍、皇后陛下は五衣に唐衣や裳を重ねられた即位礼と同じお姿で、内宮は石階下まで、外宮は板垣御門前までは御馬車で、その先は御苜蓋のさしがけられる下を、御正殿に進まれ、大床の御拝座にて御奉告されます。このとき、幣帛とともに神宝が奉られます。



神宮への御親謁



大嘗宮悠紀殿・主基殿



神宮への奉幣

即位礼・大嘗祭を終えられた天皇皇后両陛下が、御代のはじめに剣璽を伴つて神宮を御親謁され、天照大御神に親しく御奉告をなさいます。天皇陛下は立纓御冠、黄櫨染御袍、皇后陛下は五衣に唐衣や裳を重ねられた即位礼と同じお姿で、内宮は石階下まで、外宮は板垣御門前までは御馬車で、その先は御苜蓋のさしがけられる下を、御正殿に進まれ、大床の御拝座にて御奉告されます。このとき、幣帛とともに神宝が奉られます。

